

環境で未来をクリエイトする

FULUHASHI  
EPO

# 2022年3月期 決算説明会資料

フルハシEPO株式会社

証券コード:9221

1. 会社概要
2. 決算内容
3. 成長戦略
4. 配当方針

# 1. 会社概要

---

2. 決算内容

3. 成長戦略

4. 配当方針

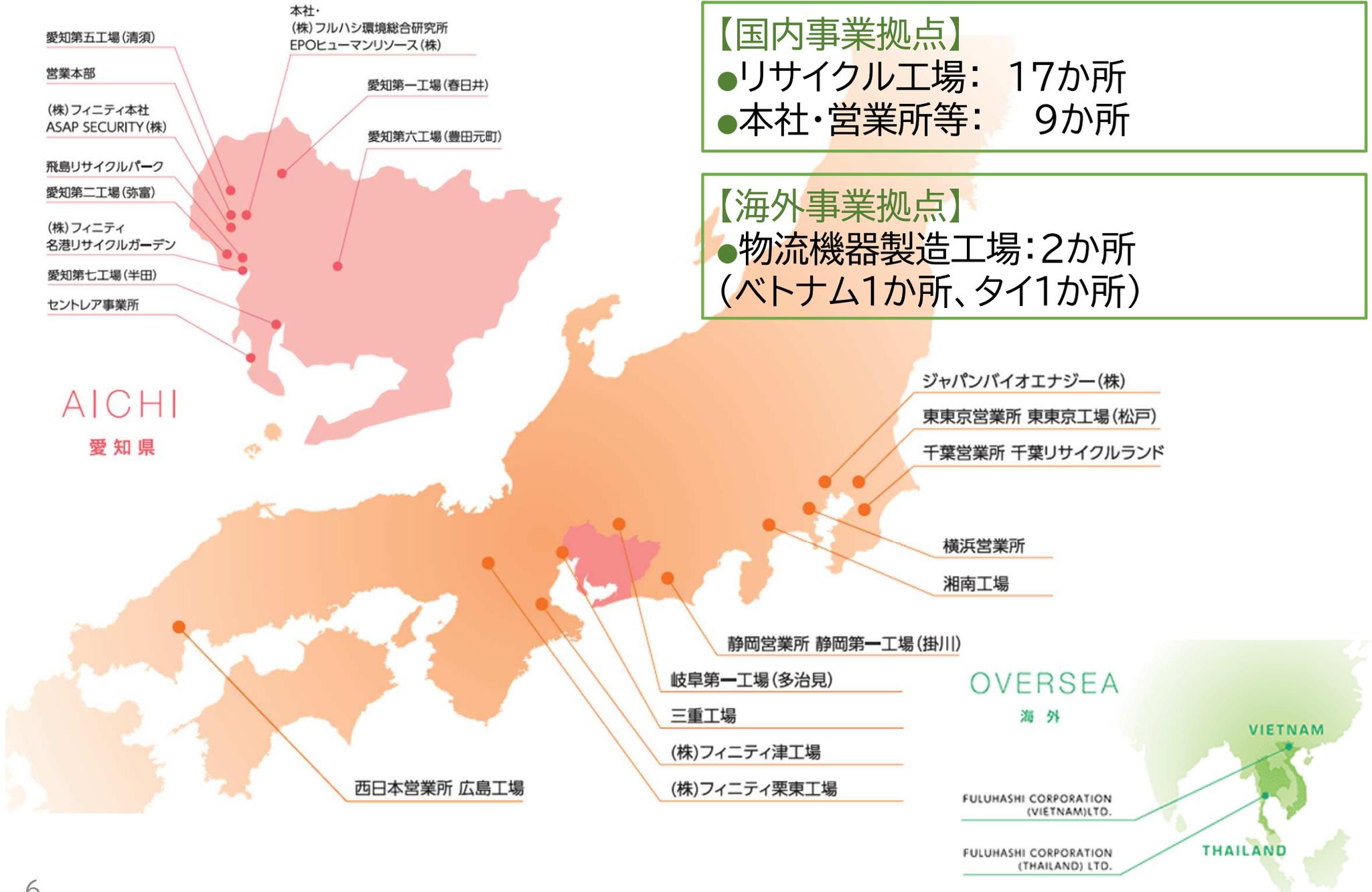
社名	フルハシEPO株式会社（英語名 FULUHASHI EPO CORPORATION）
創業	1947年12月
設立	1948年 2月
本社	名古屋市中区金山一丁目14番18号
代表者	代表取締役社長 山口 直彦
資本金	310百万円(2022年3月末)
従業員数	422名(連結:2022年3月末)
事業内容	<ul style="list-style-type: none"><li>● バイオマテリアル事業</li><li>● 資源循環事業</li><li>● 環境物流事業</li></ul>
許可	<ul style="list-style-type: none"><li>● 建設業許可</li><li>● 産業廃棄物処分業許可</li><li>● 産業収集運搬業許可</li><li>● 一般廃棄物処分業許可</li><li>● 古物商許可</li></ul>
関係会社	<ul style="list-style-type: none"><li>● 連結子会社:6社（国内4社・海外2社）</li><li>● 持分法適用関連会社:2社(ともに国内)</li></ul>

## 経営理念

世のため 人のため 地球のため 社員のため  
持続可能な社会を創造します

- 環境配慮、社会性、企業倫理を含めたコンプライアンスに対する意識の徹底を図ると共に、様々なステークホルダーとの持続的な経営を推進しています。
- 当社事業と持続可能な開発目標(SDGs:Sustainable Development Goals)との関係性は直結する経営環境となっており、事業を通して目標達成に向けて寄与していきます。

# 当社グループ拠点



# 当社が参画するバイオマス発電事業

国内2か所でバイオマス発電事業に参画、新たな需要を創出し、  
年間17万トン超のリサイクルチップを安定的に供給



## 川崎バイオマス発電所

(2011年2月運転開始)

共同出資：住友共同電力(株)、住友林業(株)

- 川崎市の厳しい環境基準をクリアした「都市型バイオマス発電所」

<川崎バイオマス発電所とジャパンバイオエナジー(株)>



- ・ 発電出力 約33,000kW(発電端)
- ・ CO2排出削減量 年間約12万トン



## CEPO半田バイオマス発電所

(2019年10月運転開始)

共同出資：(株)シーエナジー〈中部電力グループ〉

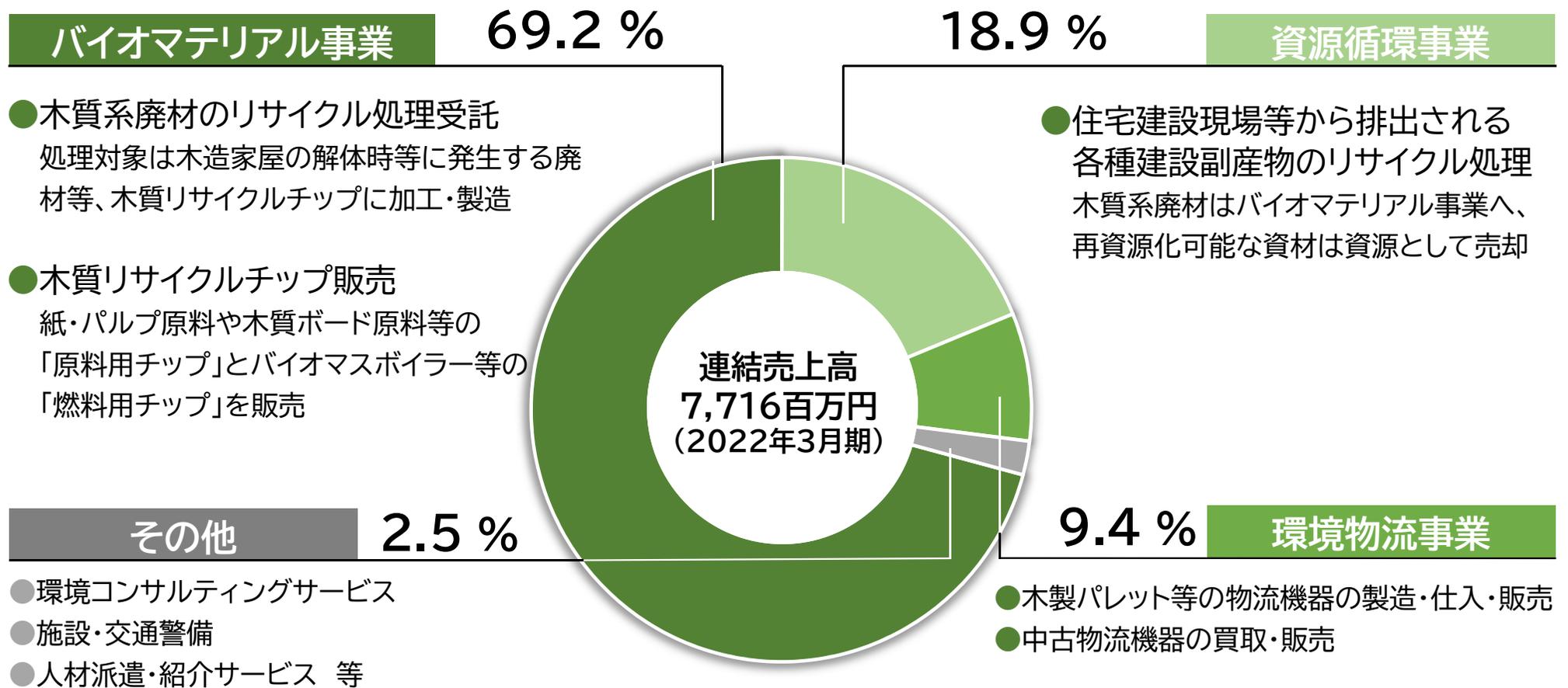
- 燃料である木質リサイクルチップは、隣接の愛知第七工場で製造しコンベアで搬入

<CEPO半田バイオマス発電所と当社愛知第七工場>



- ・ 発電出力 約50,000kW(発電端)
- ・ CO2排出削減量 年間約15万トン

## バイオマテリアル事業、資源循環事業、2つの事業を柱に 総合的な環境ソリューションを展開



# バイオマテリアル事業の概要

廃棄物排出事業者等から木質系廃材のリサイクルを受託し、  
当社工場で木質リサイクルチップに加工・製造し販売

## ■木質バイオマスのリサイクルの流れ

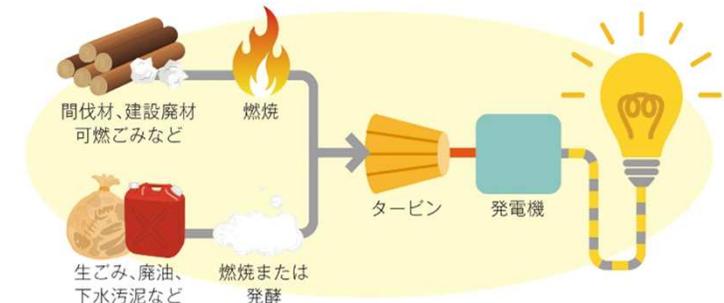


## ■主な販売先

- 原料用チップ
  - ・製紙メーカー
  - ・ボード各社 等
- 燃料用チップ
  - ・バイオマス発電所
    - 川崎バイオマス発電(株)
    - CEPO半田バイオマス発電(株)
  - ・その他のバイオマスボイラー所有会社
  - 製紙メーカー 等

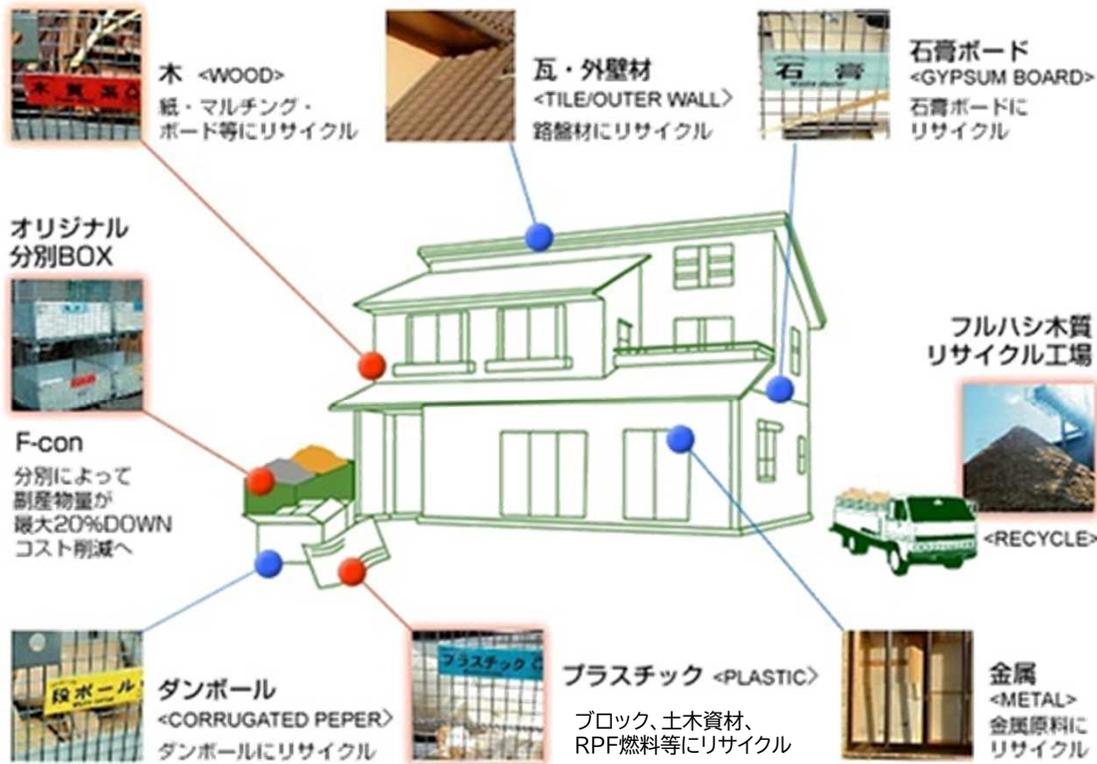
約20%が  
原料用、  
約80%が  
燃料用  
チップへ  
リサイクル

参考: バイオマス発電の仕組み



## 住宅建設現場等から排出される各種建設副産物(廃棄物)を 収集運搬し、当社グループ工場で中間処理による再資源化

### ■新設住宅の建設現場から生まれる様々な資材の副産物



### 当社グループで取扱う産業廃棄物7品目

- 木くず
- 廃プラスチック類
- 紙くず
- 繊維くず
- 金属くず
- ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くず
- がれき類

集荷

リサイクル率  
82.1%

選別、再資源化等の中間処理  
(当社グループ工場にて)

出荷

再資源化 ⇒ 副産物として販売  
(当社グループ工場および中間処理業者にて)

【木くず】 バイオマテリアル事業を行う各工場へ

【その他】 資源循環事業の各工場で再資源化  
& 中間処理業者に委託して再資源化

\*最終埋立処分が必要な廃棄物は、最終処理業者へ外注委託・処理

1. 会社概要

**2. 決算内容**

---

3. 成長戦略

4. 配当方針

## 過去最高実績を達成

■ 売上高	7,716 百万円	(前年同期比: 0.3%増)
■ 営業利益	787 百万円	(前年同期比: 29.9%増)
■ 経常利益	837 百万円	(前年同期比: 34.4%増)
■ 当期純利益	569 百万円	(前年同期比: 38.6%増)

### 主要トピックス

- 当連結会計年度より収益認識会計基準等の適用
- 適用による影響額 売上高447百万円減少 営業利益及び経常利益1百万円増加
- 旧基準売上高 8,163百万円(前年同期比:6.1%増)

# 決算内容(損益計算書)

(単位:百万円)

	2021年3月期	2022年3月期			
	実績	実績	構成比	増減額	増減率
売上高	7,694	7,716	100.0	21	0.3
売上総利益	3,164	3,390	43.9	225	7.1
営業利益	605	787	10.2	181	29.9
経常利益	623	837	10.9	214	34.4
税引前当期純利益	617	821	10.6	203	33.0
当期純利益	411	569	7.4	158	38.6

※当期純利益:親会社株主に帰属する当期純利益

※従来基準:売上高8,163百万円(増減額469百万円、増減率6.1%)、当期純利益568百万円(増減額157百万円、増減率38.2%)

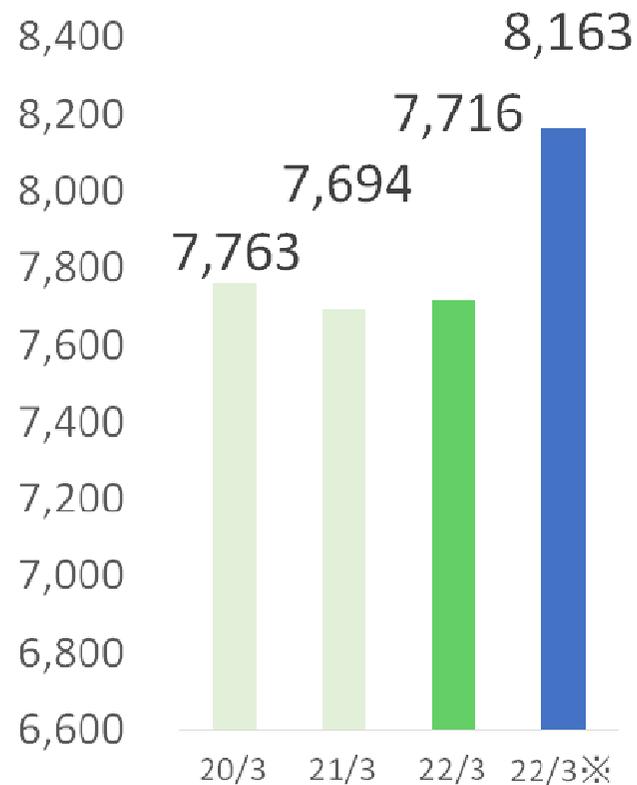
## 経営指標等

- 経常利益率:10.9%(前年同期比2.8ポイント増)
- 当期純利益率:7.4%(前年同期比2.0ポイント増)
- 自己資本利益率:29.6%(前年同期比4.1ポイント増)

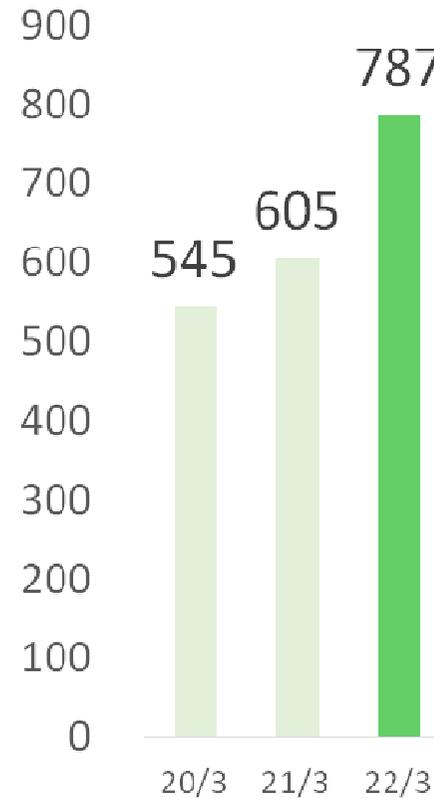
従来基準値では売上高前年対比6.1%増

(単位:百万円)

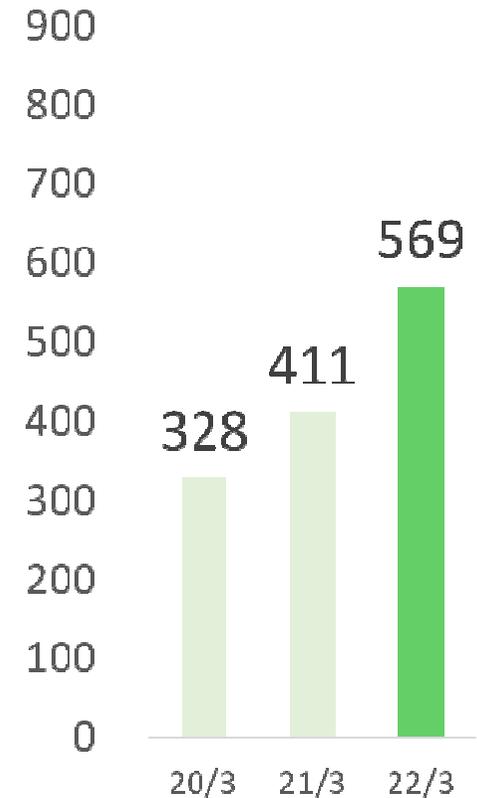
## <売上高>



## <営業利益>



## <当期純利益>



※従来基準:収益認識会計基準等の適用前

# 決算内容(主要セグメント別業績)

(単位:百万円)

セグメント別売上高	2021年3月期 実績	2022年3月期			
		実績	構成比	増減額	増減率
連 結	7,694	7,716	100.0	21	0.3
バイオマテリアル事業	5,518	5,404	70.0	△113	△2.1
資源循環事業	1,452	1,462	18.9	9	0.7
環境物流事業	651	737	9.6	85	13.2

参考:従来基準

(単位:百万円)

セグメント別売上高 (従来基準)	2021年3月期 実績	2022年3月期			
		実績	構成比	増減額	増減率
連 結	7,694	8,163	100.0	469	6.1
バイオマテリアル事業	5,518	5,835	71.5	317	5.8
資源循環事業	1,452	1,479	18.1	26	1.8
環境物流事業	651	737	9.0	85	13.2

# 決算内容(主要セグメント別業績)

(単位:百万円)

セグメント利益	2021年3月期 実績	2022年3月期			
		実績	構成比	増減額	増減率
連 結	623	837	100.0	214	34.4
バイオマテリアル事業	671	832	99.3	160	23.9
資源循環事業	108	140	16.7	31	29.5
環境物流事業	△35	△31	△3.7	4	△11.4

※上記 主要セグメント利益について、収益認識会計基準適用による影響はありません(純額で収益を認識)。

## バイオマテリアル事業 (売上高:5,404百万円 利益:832百万円)

- 従来基準においては売上高、経常利益ともに増収増益
- 収益認識会計基準適用による影響額 売上高431百万円減少

## 資源循環事業 (売上高:1,462百万円 利益:140百万円)

- 売上高、経常利益ともに増収増益
- 収益認識会計基準適用による影響額 売上高17百万円減少

# 決算内容(貸借対照表)

(単位:百万円)

	2021年3月期	2022年3月期	
	実績	実績	増減額
流動資産	2,024	1,902	△122
固定資産	6,934	7,355	421
資産	8,959	9,258	298
流動負債	3,219	3,515	296
固定負債	4,009	3,627	△382
純資産	1,729	2,115	385
負債・純資産合計	8,959	9,258	298

## 主要トピックス

- 流動資産の減少:新規工場開設に向けた設備支払等により現金及び預金が115百万円減少したこと等によるもの
- 固定資産の増加:新規工場開設に向けた設備投資により建設仮勘定385百万円増加したこと等によるもの
- 自己資本比率:22.8%(前年同期比3.5ポイント増)

# 決算内容(キャッシュ・フロー計算書)

(単位:百万円)

	2021年3月期		2022年3月期	
	実績		実績	増減額
営業活動 C F	1,046	816	△229	
投資活動 C F	△156	△481	△325	
財務活動 C F	△877	△379	497	
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5	5	11	
現金及び現金同等物の増加額	7	△39	△46	
現金及び現金同等物の期首残高	538	546	7	
現金及び現金同等物の期末残高	546	507	△39	

## 主要トピックス

- 営業CF:税金等調整前当期純利益+821百万円、減価償却費+463百万円、法人税等の支払額△285百万円 等
- 投資CF:有形固定資産の取得による支出△583百万円 等
- 財務CF:長期借入れによる収入+650百万円  
長期借入金の返済による支出△1,070百万円 等

# 通期業績予想

(単位:百万円)

	2021年3月期 実績	2022年3月期 実績	2023年3月期		
			業績予想	増減額	増減率
売上高	7,694	7,716	8,143	427	5.5%
売上総利益	3,164	3,390	3,620	230	6.8%
営業利益	605	787	850	62	8.0%
経常利益	623	837	880	42	5.0%
税引前当期純利益	617	821	915	93	11.4%
当期純利益	411	569	635	65	11.5%

※当期純利益:親会社株主に帰属する当期純利益

## 今後の見通し

- バイオマテリアル事業の工場2拠点の稼働(岐阜県、埼玉県)
- バイオマス発電用燃料の継続かつ安定的な売上見込
- 製紙・建材ボード用原料の需要増による売上増見込
- 投資計画として821百万円予定(既存443百万円、新設378百万円)

1. 会社概要

2. 決算内容

**3. 成長戦略**

---

4. 配当方針

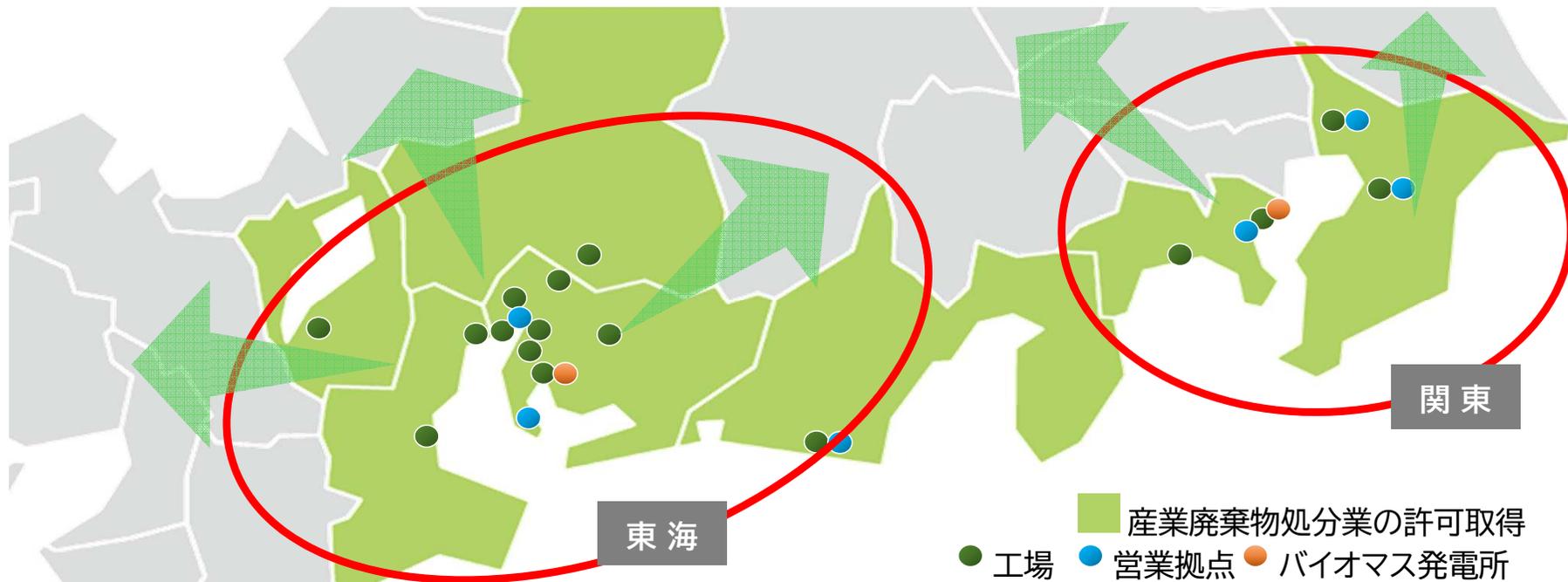
## 需要地域への包括的な拠点展開

- 環境貢献型資源と期待される木質バイオマス製造(調達)のトップランナーへ
- 木質バイオマスリサイクル拠点の新設及び資源循環事業拠点の併設  
(多角的な収益源の確保と分散)

## 木質バイオマス発電への積極的な参画

- 木質燃料チップ需要の創造
- 輸送面でのコスト及び環境負荷(CO2)の削減

SDGsへの寄与  
再生可能エネの創出  
資源循環の促進



IPO資金使途はバイオマテリアル事業、資源循環事業における工場新設・増設関連資金であり、外部評価機関のSPO<sup>注1</sup>を取得

事業区分	該当するSDGs目標	資金使途対象プロジェクト	完了予定年月
バイオマテリアル事業 (再生可能エネルギー)	  	岐阜第二工場	2022年5月
		西東京工場	2022年10月
		愛知第八工場	2024年10月
資源循環事業 (汚染防止及び抑制)		掛川リサイクルガーデン	2023年4月
		新千葉リサイクルガーデン	2023年10月
		湘南リサイクルガーデン	2023年10月

国際資本市場協会の「グリーンボンド原則2021」の特性に基づき、株式会社日本総合研究所が本資金調達について、環境課題解決に寄与することを確認済み

環境面での社会要請に確実に応えながら、  
成長分野をさらに拡大することで、永続的な成長を目指す

# 今期開設予定拠点

## 1) 岐阜第二工場(大垣)開設

岐阜県内2番目のバイオマテリアル事業の工場として

2022年5月31日稼働

東海地区の市場強化による業績拡大に寄与

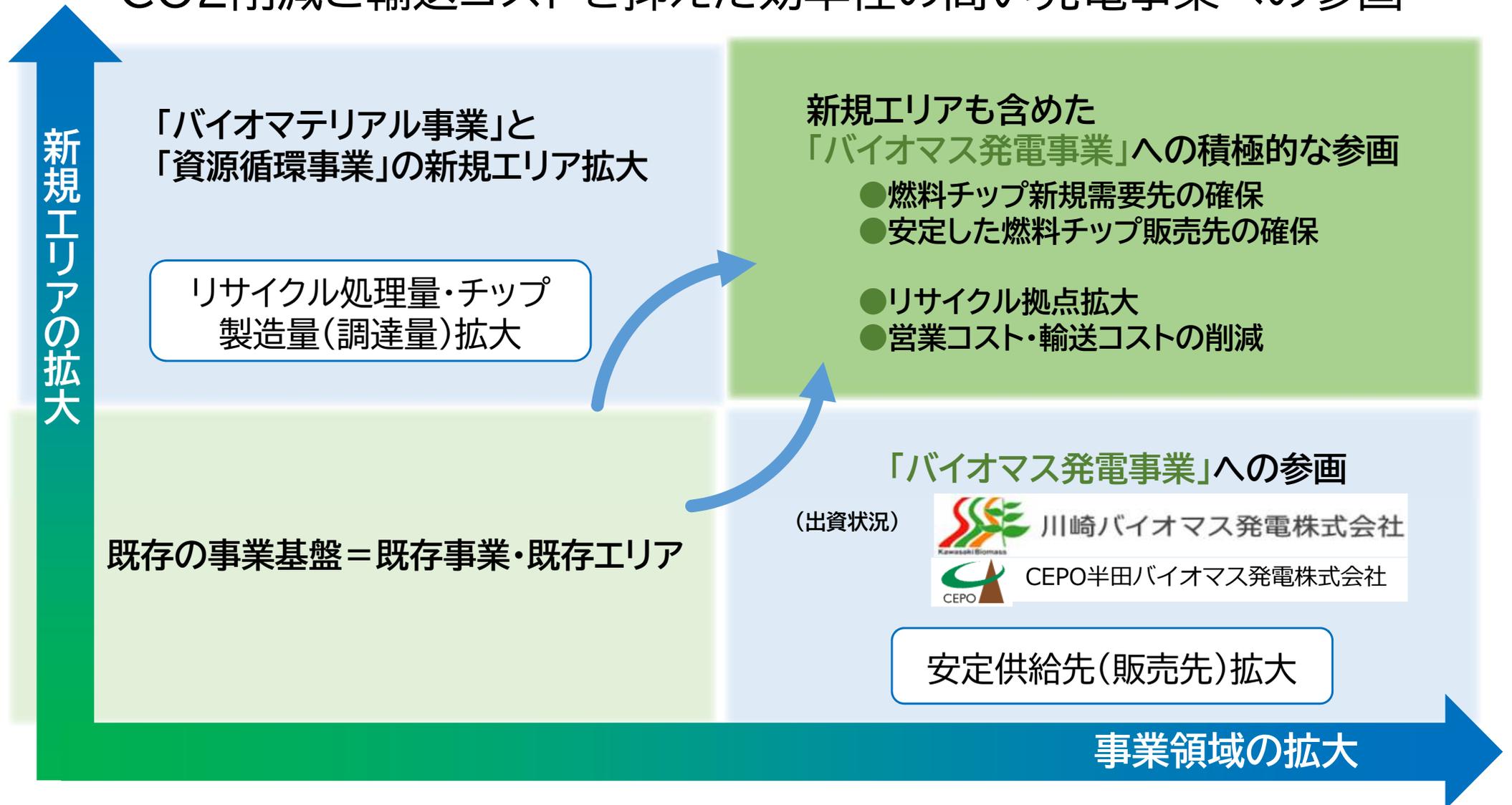
施設名	フルハシEPO株式会社 岐阜第二工場(大垣)
住所	岐阜県大垣市浅草三丁目135
施設規模	敷地面積:2,486㎡、工場棟面積:1,104㎡
許可番号	第02120028236号(岐阜県)
事業の区分	中間処理
処分方法	破碎
産業廃棄物の種類	木くず (水銀使用製品産業廃棄物を除く)
生産量	30,000t/年



## 2) 西東京工場(埼玉県入間市)

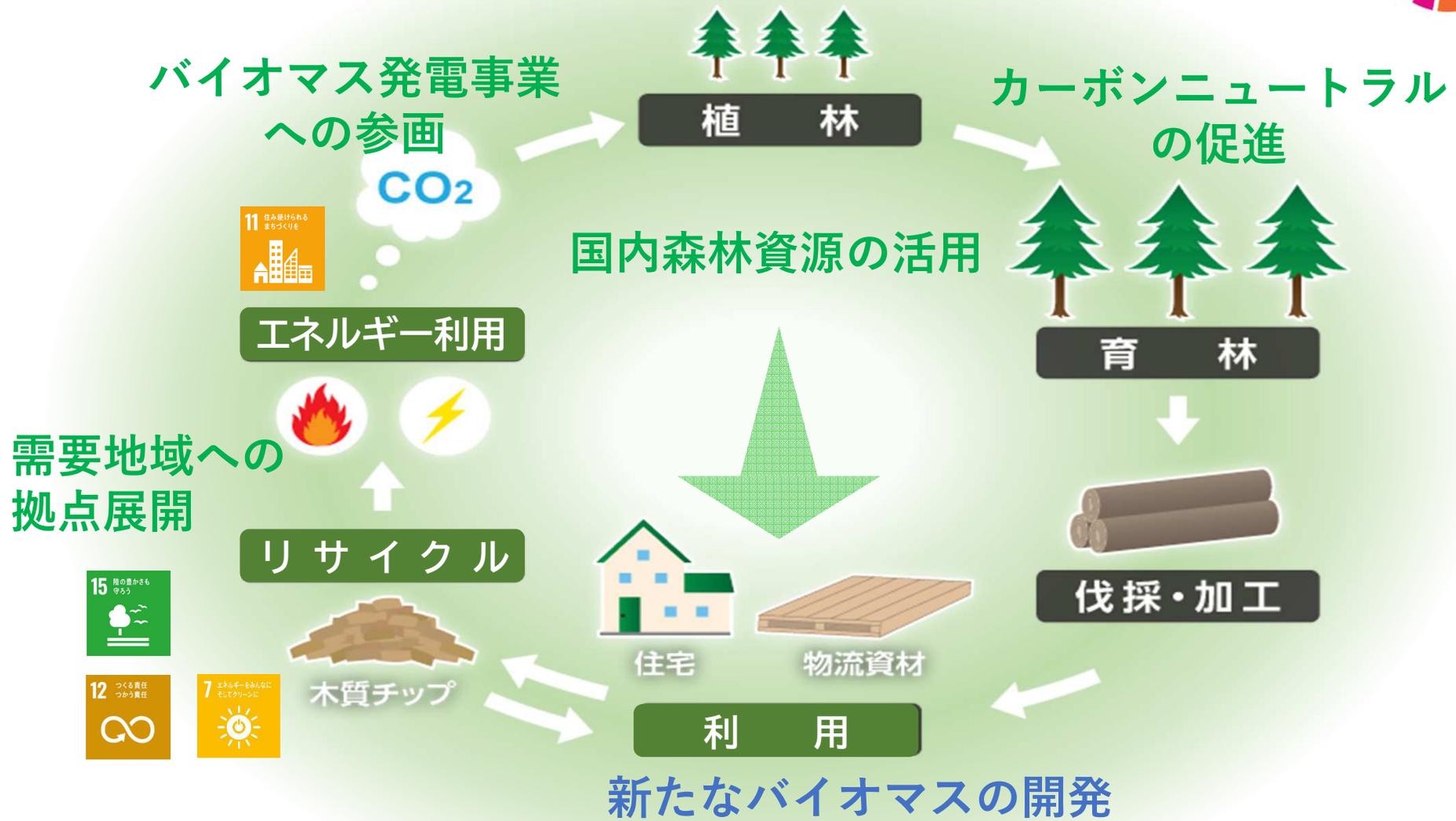
2022年10月稼働予定

バイオマス発電所隣接木質チップ工場展開による燃料の供給過程でのCO2削減と輸送コストを抑えた効率性の高い発電事業への参画





## 植林からエネルギー



1. 会社概要

2. 決算内容

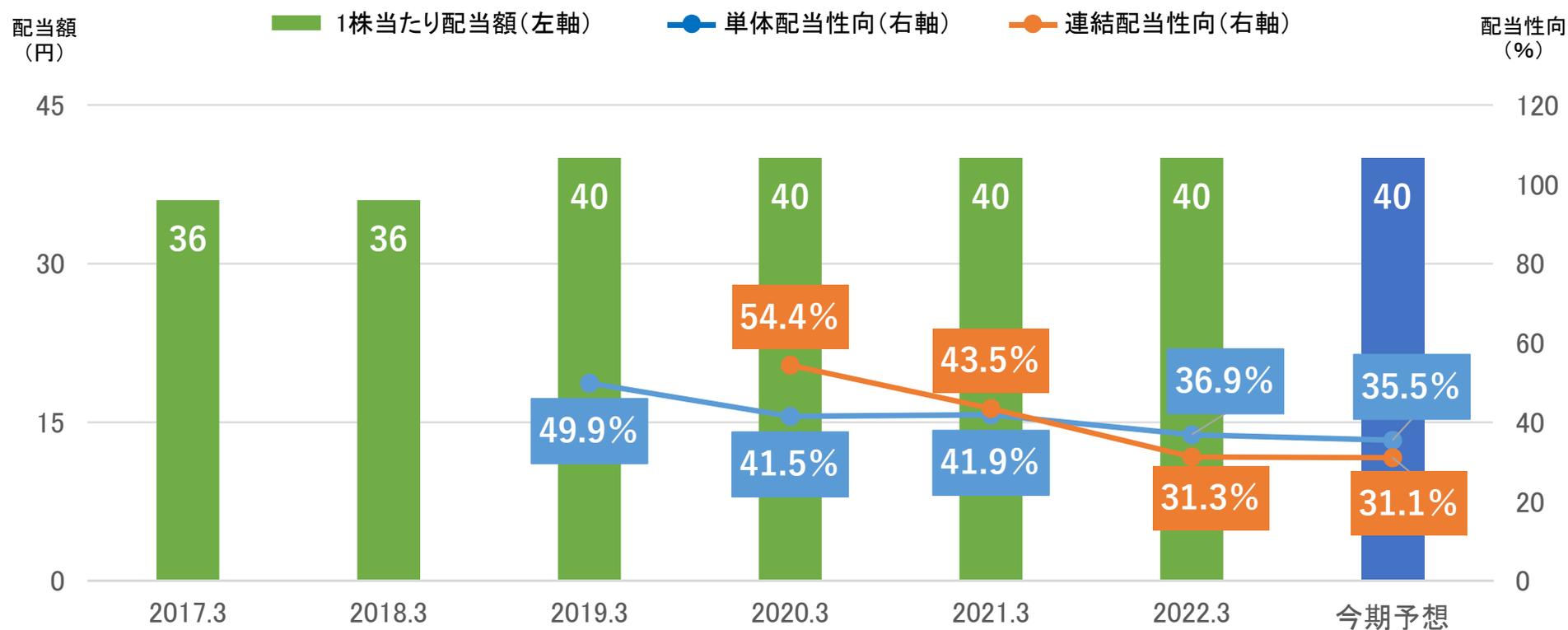
3. 成長戦略

**4. 配当方針**

---

## 配当方針

配当については、安定性・継続性に配慮し、業績動向、財務状況等を総合的に勘案して実施の方針。  
**配当性向は30%以上**を目途に株主還元として配当を行う方針。



(注) 連結配当性向は、有価証券届出書記載の「1株当たり配当額」を連結の「1株当たり当期純利益」にて除して算出しております。

# 本資料の取り扱いについて

■本資料は、情報提供を目的としたものであり、当社株式等の特定の商品についての募集・投資勧誘・営業等を目的としたものではありません。

■本資料に記載されている見解・見通し・予測等は、資料作成時点での当社の判断です。将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を確認された上で、ご利用ください。

■本資料で提供している情報は万全を期していますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また予告なしに内容が変更または廃止される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

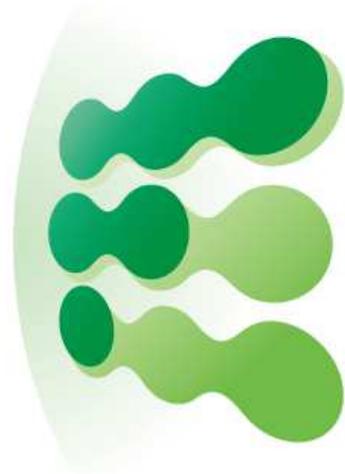
■本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。

フルハシEPO株式会社 総務部

TEL:052-324-9088

【本資料及びIRに関するお問い合わせは、こちらより受けております。】

[https://www.fuluhashi.co.jp/contact\\_ir.html](https://www.fuluhashi.co.jp/contact_ir.html)



環境で未来をクリエイトする

FULUHASHI  
EPO